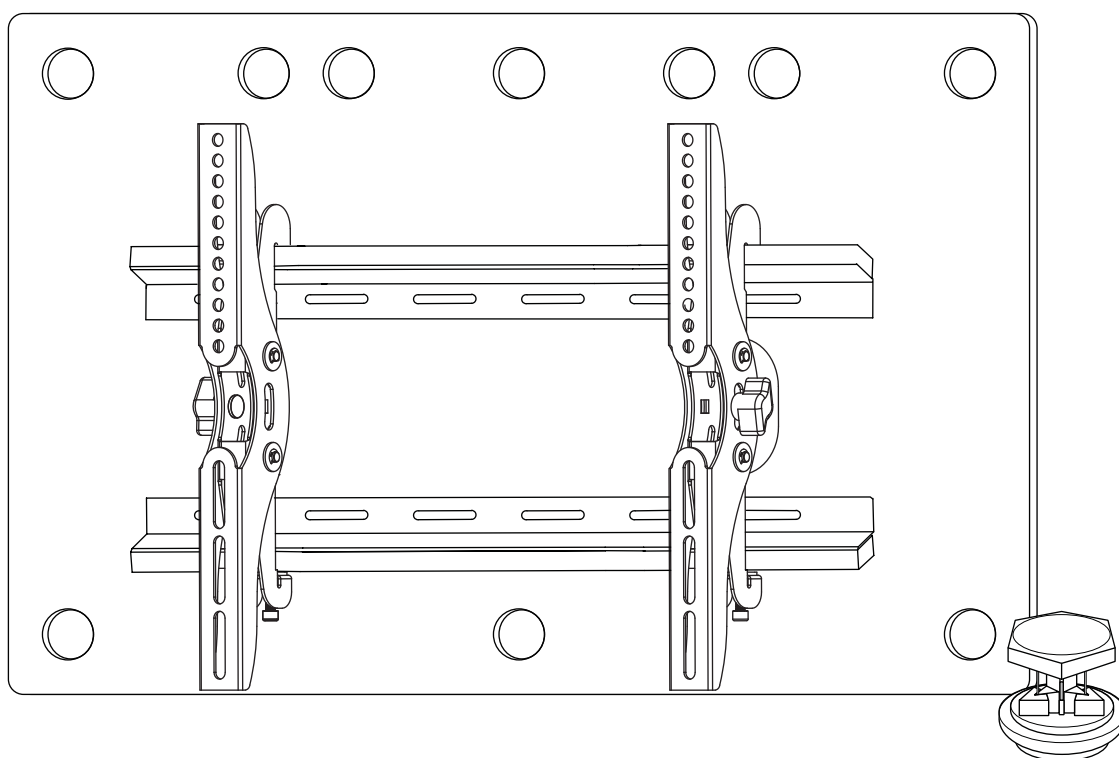


# テレビ壁掛け金具 使用・取付け説明書

## 型番 『OP117-S』



この度は本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
設置の前に本説明書をよくお読みのうえ正しく設置・使用してください。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定される内容を示しています。



禁止の行為である事を告げるものです。

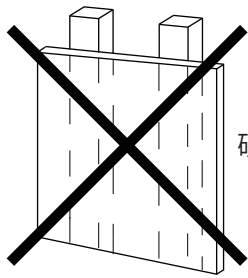


行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

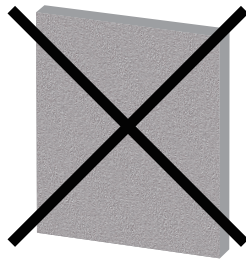


この商品は石膏ボード壁専用です。必ず取り付ける壁が石膏ボードかご確認下さい。

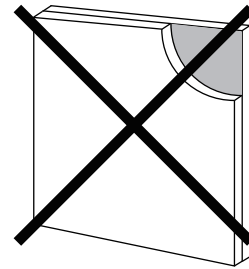
**プッシュピンが使用できない壁**



硬質石膏ボード



コンクリート壁



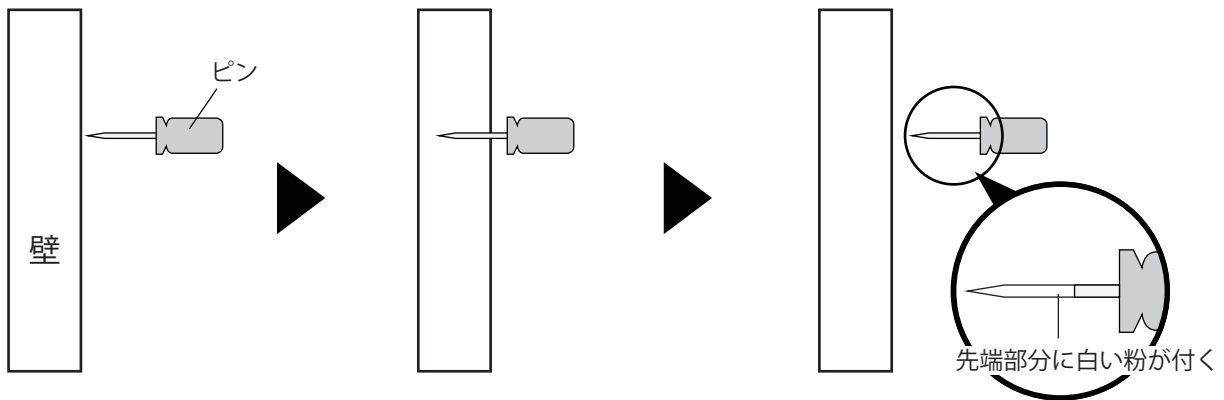
木材  
(合板/コンパネ)

※石膏ボードの厚みが12mm未満で、石膏ボード内部に間柱や下地の設置がある箇所の場合も使用できません。

**【石膏ボードの確認方法】**

石膏ボードとは、石膏をしん材とし両面を石膏ボード用原紙で被覆成型した建築用内装材料です。

1. ピンを壁に刺して確認する (イラストはイメージです)



図のように目立たない場所にピンを刺してみます。

ピンが刺さらない場合は、コンクリート壁や木壁にクロスを貼っている可能性があります。

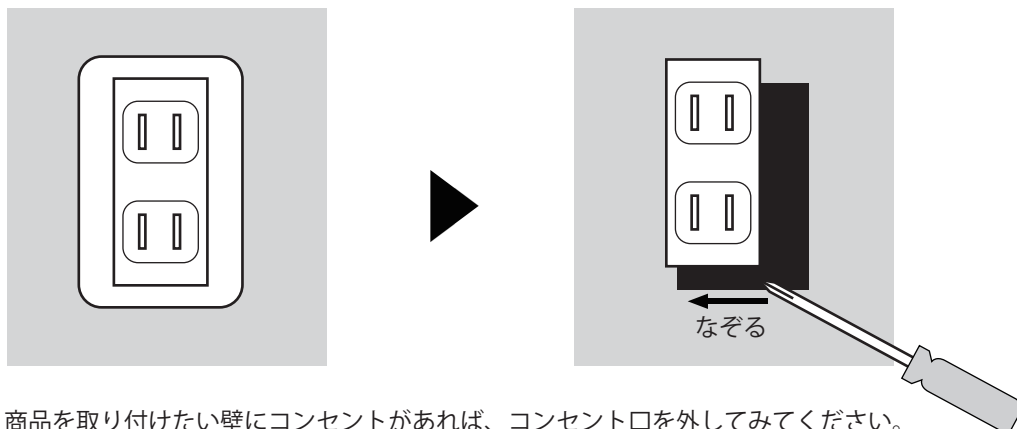
ピンが刺さった場合は、ピンの先を確認してください。

ピンの先に白い粉が付いていた場合、石膏ボード壁となります。

白い粉が付いていない場合は、ベニヤ板のような薄い木壁の可能性あります。

※壁にピンの穴をあけたくない場合は、下記「2. コンセントの穴を確認する」をお試しください。

2. コンセントの穴を確認する (イラストはイメージです)



商品を取り付けたい壁にコンセントがあれば、コンセント口を外してみてください。

コンセント口を外すと壁の断面を見る事が出来ますので、ドライバー等で壁をなぞります。

白い粉が削れて、付くようなら石膏ボードの壁となります。

※安全のため確認するコンセントの電源回路ブレーカーをOFFにしてから作業してください。

## 警告



本説明書を無視した組み立て設置や誤った組み立て設置、取付け不良、取付け強度不足、本来の目的外の利用及び、天災などによる事故や破損については、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。



金具自体の不備や不具合にはご対応できますが、お客様の壁構造・強度については当店では責任が持てない事をご了承ください。お客様ご自身で強度をご確認の上、自己責任にて設置をお願いします。



本商品は、日曜大工 (DIY) が得意な方でしたら壁側などの構造の確認を十分に行った上で作業をすれば設置可能な場合もあります。ただしお客様による設置施工・工事については弊社では一切保証できず、自己責任となります。



お客様ご自身で取付けを行う際は取付け場所等に十分注意し、自己責任で取付けを行ってください。少しでも不安のある場合は無理に取付けを行わず専門業者へ依頼してください。



必要な部品は本説明書通りの手順で全て確実に取付けてください。不備がある場合、テレビの落下事故や家屋の破損が発生する恐れがあります。



取付ける壁の石膏ボードを事前に確認してください。経年劣化等で取付けが困難な場合は中止してください。



一度設置した壁側の穴を再利用しての再設置は避けてください。取付け強度が極端に低下している場合があります危険です。



商品ごとに定められている許容重量以下のテレビのみをご使用ください。



次の場所には、設置をしないでください。

- コンクリート、木材のようなアクリルパネルが設置できない突起のある壁、天井
- 石膏ボード内部に間柱や下地の設置がある箇所
- 振動や衝撃が頻繁にあるような場所及び設置が水平にならないなど不安定な場所
- ぐらつく、傾くなど不安定な場所
- 人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
- 屋外や海岸、温泉に近い場所、温度・湿度の高い場所
- 動力用電源配線、空調機器、防磁型でないスピーカーに近い場所
- テレビの通気が悪い場所、通風を妨げるような場所
- 開閉するドアの近くなど、日常生活の行動に支障をきたす場所
- 常時人がいる場所の真上など万が一落下した場合に危険性が高まる場所
- その他強く固定ができない不安定な場所や、設置する事で危険性が増す場所など

## 注意



取付けを行う前に、テレビが今回お買い上げの金具に取付けできるかを今一度確認してください。壁側の取付けを行った後に、テレビの取付けが出来ないと発覚しても弊社では一切の責任を負いかねます。何卒慎重にご確認ください。



金具の種類やテレビの大きさによっては、重量がある場合がございます。基本的には2人以上で組立・設置作業を行ってください。



設置作業を行うにあたって、安全性を十分に考慮し、設置中の怪我や部屋及び家財に損傷を与える事のないようにご注意ください。また、作業時は十分なスペースを確保してください。

## 取付け設置時に必要な道具・工具は揃っていますか？

- プラスドライバー（長さの異なるものが数種類あると便利です）
- 必要に応じて、スパナ
- 滑り止め付きの軍手（怪我防止、落下防止に便利です）
- メジャー（設置箇所の計測、水平、垂直の計測に使用します）
- ペン、鉛筆（設置箇所、ネジ穴のマーキングなどに使用します）
- マスキングテープ（水平目安の為にがあると便利です）
- 水平器

### ポイント

水平器はあくまで目安としてください。実際の水平は、金具の左右のネジ穴位置を床下からの同距離で計測する事で計った方が正確に水平が取れます。理由としては通常のお住まいでもある程度、数度などの傾きはあるからです。

## 取付けを始める前にもう一度チェック！

- ☑ 付属部品は揃っているか、取付けに足りない部品は無いかな。
- ☑ 金具に不備はないかどうか、破損などの不良部品・不良箇所は無いかどうか。
- ☑ テレビの適合をもう一度確認してください。  
テレビ側ブラケットを実際にテレビ背面のネジ穴に合わせてみましょう。
- ☑ 取付けを予定している壁の状態を確認してください。  
本商品に付属しているプッシュピンは石膏ボード専用商品です。コンクリート、間柱、補強壁等の固い素材の場合はお取付けできません。

## 付属ネジに関して

- テレビ側のネジは、多くのテレビを取付け可能にする為に数種類の径の太さで一般的な長さのものを付属しています。ただし、どうしてもそれらのネジで合わないテレビもある事から、そのような場合はお客様にてホームセンターなどで適切なネジをご用意ください。

## 付属の部品一覧

※金具・部品の仕様や形状は実際とは多少異なる場合がございます。

### アクリルパネルと壁面プレートを固定するネジ類・壁に取り付けるプッシュピン



a. 皿ネジ…4本



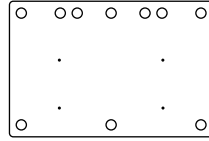
b. M5 ワッシャー  
…4個



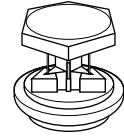
c. M5樹脂ワッシャー  
(白色)…4個



d. ナット  
…4個



e. アクリルパネル  
…1枚

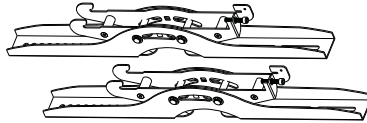


f. プッシュピン  
…10個

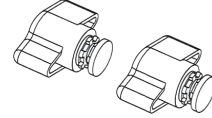
### 金具本体・金具に取り付ける部品



g. 壁側プレート…2個



h. テレビ側ブラケット…2個



i. 角度調節ノブ…2個  
(金具 h に付いている場合があります)



j. 安全止めネジ…2個

(j. 安全止めネジは h. テレビ側ブラケットに付いている場合があります)

### テレビを取り付ける際に使用するネジ類



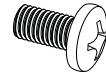
k. M4x12 ボルト…4本



l. M5x12 ボルト…4本



m. M6x12 ボルト…4本



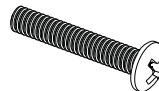
n. M8x16 ボルト…4本



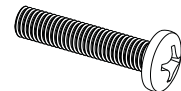
o. M4x30 ボルト…4本



p. M5x30 ボルト…4本



q. M6x35 ボルト…4本



r. M8x40 ボルト…4本



s. M4 ロックワッシャー  
4個



t. M5 ロックワッシャー  
4個



u. M6 ロックワッシャー  
4個



v. M8 ロックワッシャー  
4個



w. M4/M5 スパースー  
4個



x. M6/M8 スパースー  
4個



y. M4/M5 ワッシャー  
8個 (厚さ 1mm)



z. M6/M8 ワッシャー  
4個

※付属しているネジは多くのテレビに合う一般的な長さのネジを付属しています。  
万が一付属のネジで合わない場合は別途ホームセンター等で適切なネジ類をご用意ください。

### その他



ドライバー…1本

※y の M4/M5ワッシャーとタッピングビス用ワッシャーは厚みが異なります。  
厚みのある方がタッピングビス用ワッシャーになります。

## Step1. モニターブラケットの取り付け ～テレビ背面がフラットの場合～

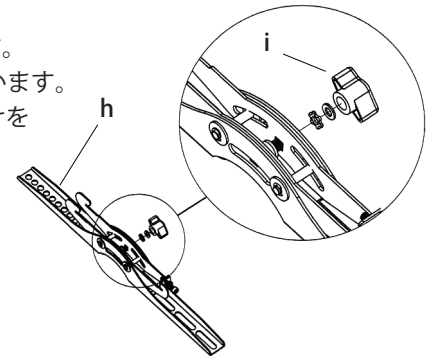


取付け前にテレビの据え置きスタンドや電源ケーブル等の配線を全て外してください。

### 【角度調節ノブの取付け】

右の図を参考にして、テレビ側ブラケット (h) に角度調節ノブ (i) を取り付けます。角度調節ノブはノブ・ボルト・ロックワッシャー・ワッシャーの4種で構成されています。ボルトを内側から取付け、外側はロックワッシャー・ワッシャー・ノブの順に取付けを行ってください。

テレビに取り付ける際に、テレビ側ブラケットは左右どちらに取り付けても同じですが、取付け後に角度調節ノブが外側に来るようにテレビに取り付けることで、角度を変更する際の変更が楽になります。



※すでに角度調節ノブが取り付けしていた場合はこの作業は飛ばしてください。

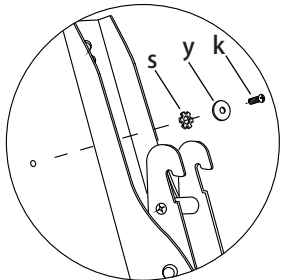
### 【モニターブラケットを取り付ける】

下の図を参考にして、テレビの背面に開いている金具取付けネジ穴にテレビ側ブラケット (h) をワッシャー (y,z)、ロックワッシャー (s,t,u,v)、ボルト (k,l,m,n) を使って取り付けます。

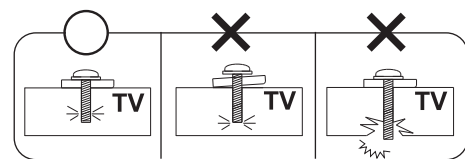
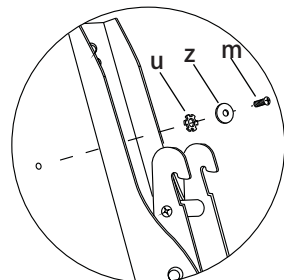
この時ワッシャー、ロックワッシャー、ボルトはテレビの金具を取付けるネジ穴の大きさに合ったものを取り付けてください。テレビ側ブラケットは安全止めネジを付ける側が下になります。

また、2つのテレビ側ブラケットが平行になる様に取り付けてください。左右とも取り付け穴の位置は同じにしてください。

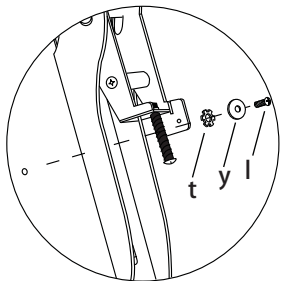
M4 ボルト取り付けの場合



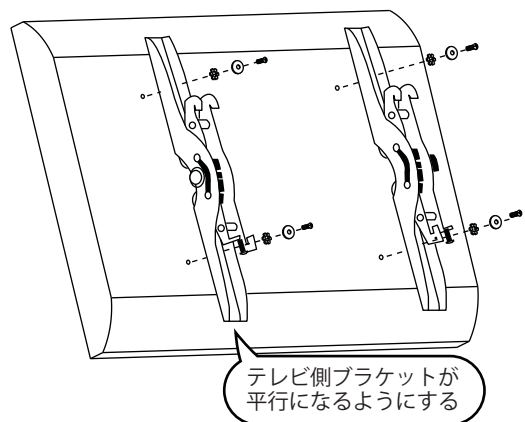
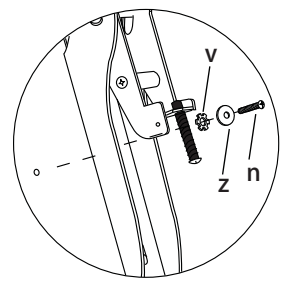
M6 ボルト取り付けの場合



M5 ボルト取り付けの場合



M8 ボルト取り付けの場合



取付け順序



付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのテレビネジ穴の径や深さに合わない場合は別途適切なボルトをご用意の上お取り付けください。無理に取り付けを行うと、テレビの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。

## Step1. モニターブラケットの取り付け ～テレビ背面に段差がある場合～

テレビに段差がある場合や、テレビ側ブラケット取付け時に配線等に干渉する場合は、スペーサーを使用して取り付けます。

下の図を参考にして、テレビの背面に開いている金具取付けネジ穴に、テレビ側ブラケット (h) をスペーサー (w,x)、ワッシャー (y,z)、ロックワッシャー (s,t,u,v)、ボルト (o,p,q,r) を使って取り付けます。

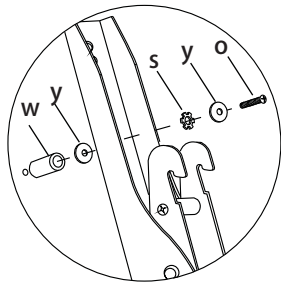
この時ワッシャー、ロックワッシャー、スペーサー、ボルトはテレビの金具を取付けるネジ穴の大きさに合ったものを取り付けてください。

M4 ボルト (o) もしくは M5 ボルト (p) を使用する場合は、テレビ側ブラケットと M4/M5 用スペーサー (w) の間にもワッシャー (y) が必要になります。ご注意ください。

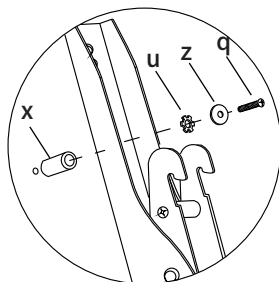
テレビ側ブラケットは安全止めネジを付ける側が下になります。

また、2つのテレビ側ブラケットが平行になる様に取り付けてください。左右とも取り付ける穴の位置は同じにしてください。

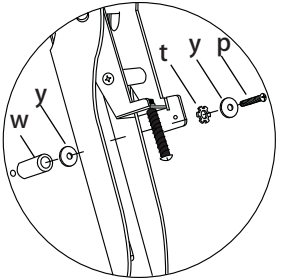
M4 ボルト取り付けの場合



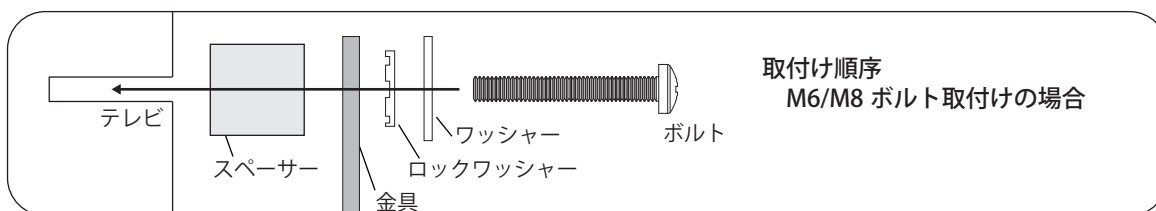
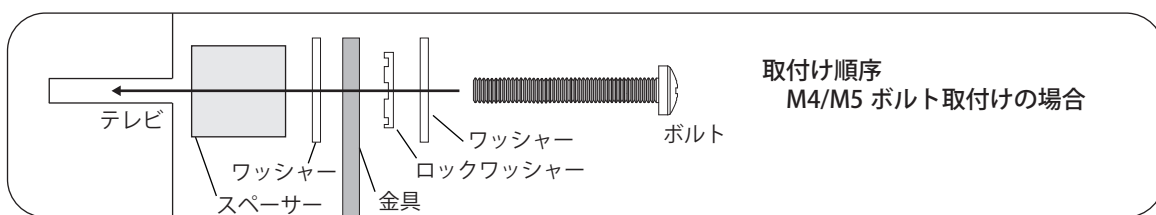
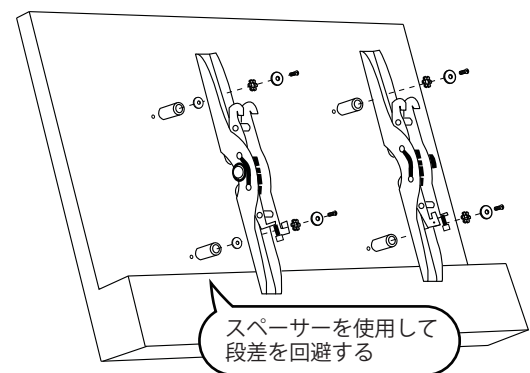
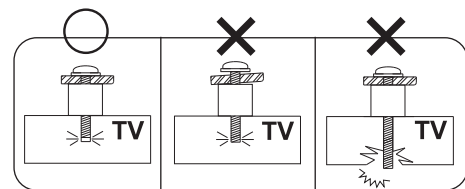
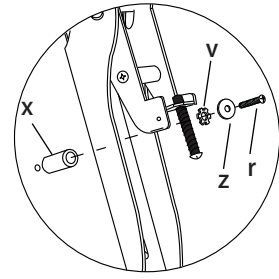
M6 ボルト取り付けの場合



M5 ボルト取り付けの場合



M8 ボルト取り付けの場合



- ・ 付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのテレビネジ穴の径や深さに合わない場合は別途適切なボルトをご用意の上お取り付けください。
- ・ また、スペーサーを使用しても干渉してしまう場合は無理に取り付けを行わないでください。
- ・ 付属のスペーサーを両方使用しての取付けは大変危険です。無理に取り付けを行うとテレビの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。

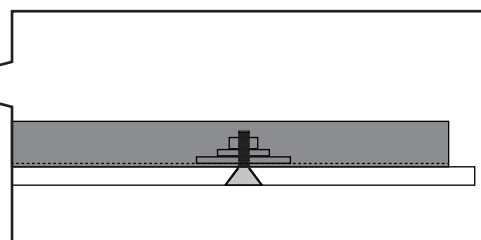
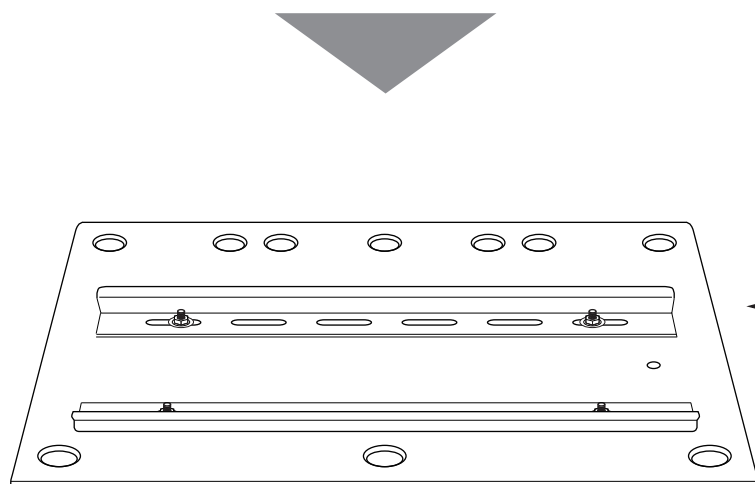
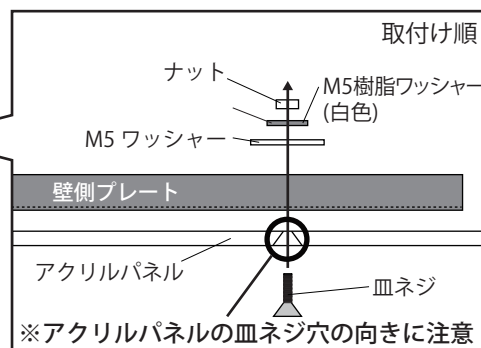
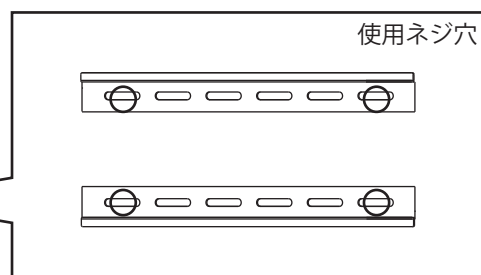
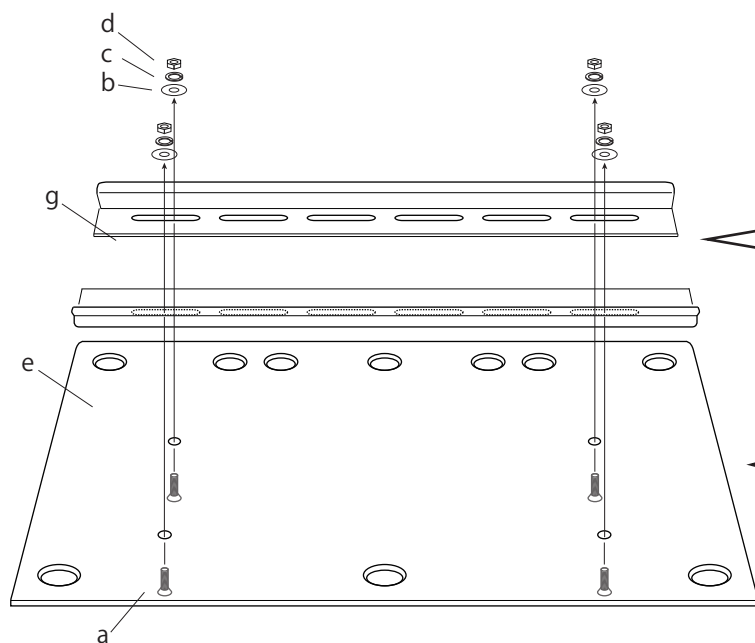
## Step2. 壁側プレートとアクリルパネルを組み合わせる



ご注意

- ・アクリルパネルが傷つかないよう、柔らかい布などを敷いて作業してください。
- ・アクリルパネルには裏表があります。皿ネジ穴を差し込む方が裏です。
- ・強く締めすぎてアクリルパネルが破損しないように気を付けてください。

下図の様にアクリルパネル (e) の皿ネジ穴と壁側プレート (g) のネジ穴にネジを使用して固定します。  
皿ネジ (a)、アクリルパネル (e)、壁側プレート (g)、M5 ワッシャー (b)、M5樹脂ワッシャー(白色) (c)、ナット (d) の順に取り付けます。



## Step3. 石膏ボード壁の事前確認

この商品は石膏ボード壁専用です。必ず取付ける壁が石膏ボードをご確認ください。詳細は本書 P.1 をご参照ください。

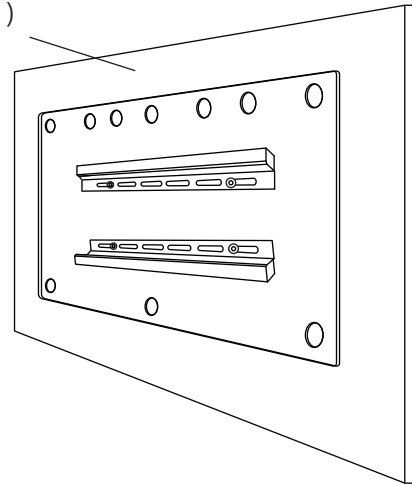


## Step4. アクリルパネルを壁に取り付ける

### 【壁にアクリルパネルを合わせる】

右図のようにアクリルパネルを取り付ける位置に合わせます。  
必ずプッシュピンが刺さるか確かめ、水平器等で水平を取りながら行って下さい。  
また、この作業は必ず2人以上で行って下さい。

壁(石膏ボード)

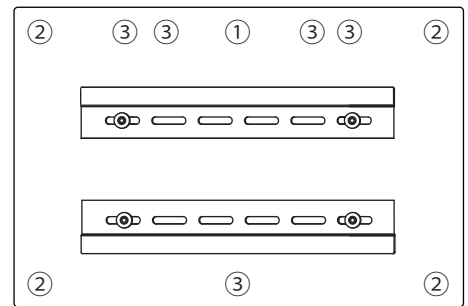


### 【プッシュピンを、アクリルパネルの穴に合わせて設置する】



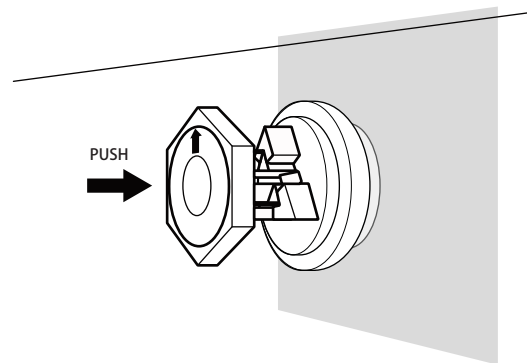
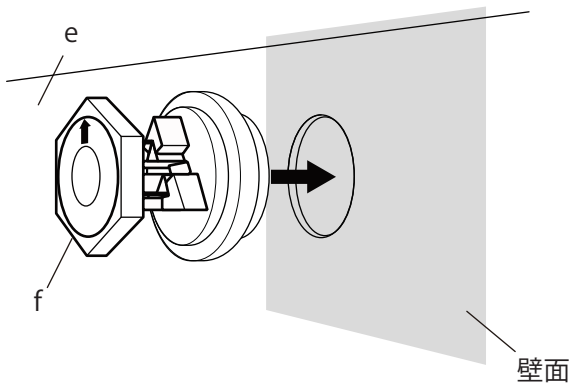
針が突起する面は怪我をする恐れがあるので  
触らない様注意して作業をして下さい。

始めにプッシュピンに付いている紙のストッパーを外します。  
下図を参考にプッシュピンを使ってアクリルパネルの穴に合わせて  
固定していきます。固定する穴の順番は右図を参考にしてください。  
上部中央の穴から固定することで水平を調節することができます。

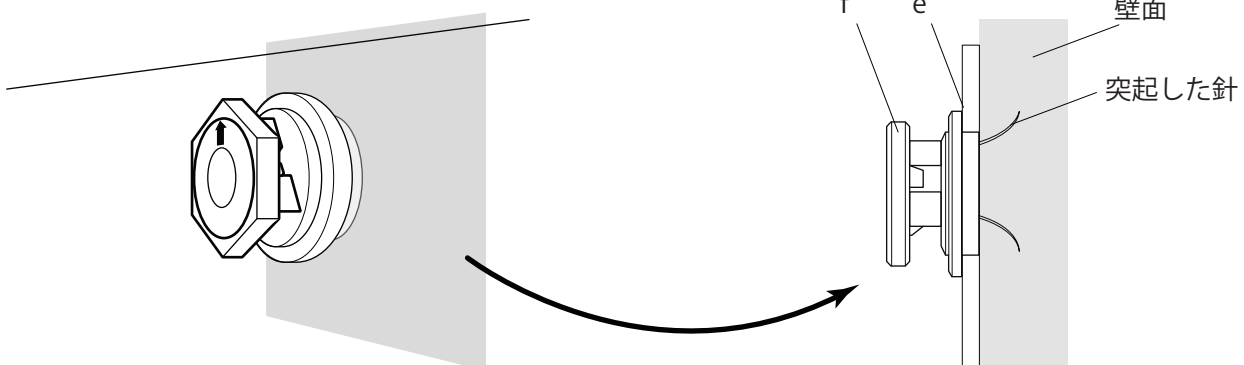


1. アクリルパネル (e) の穴にプッシュピンを当てます。  
この時プッシュピン (f) の矢印が↑の方を上にします。

2. プッシュピン (f) が穴に入り、壁面に当たったら、  
「ここを押す」を少し力を入れて押します。



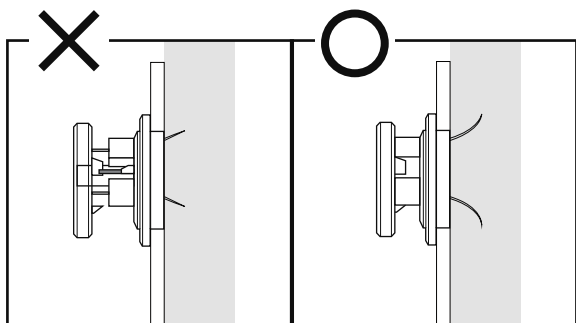
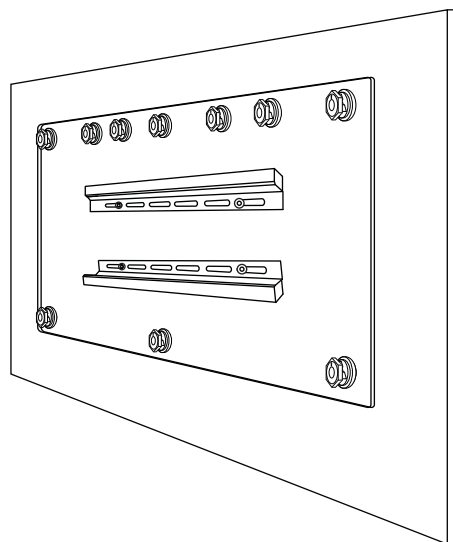
3. 押していくと壁の中で3本の針が放射状に伸びていきます。  
真横から見て針が見えなくなるまで押します。



## Step4. アクリルパネルを壁に取り付ける

### 【プッシュピンが全て設置出来ているか確認する】

アクリルパネルの 10 箇所 の穴に全てのプッシュピンが最後まで刺さっているか確認して下さい。  
途中まで刺さっていたりするとテレビを設置した際に、  
部品の破損やテレビの落下の危険がありますので、  
必ずテレビ設置前に確認して下さい。

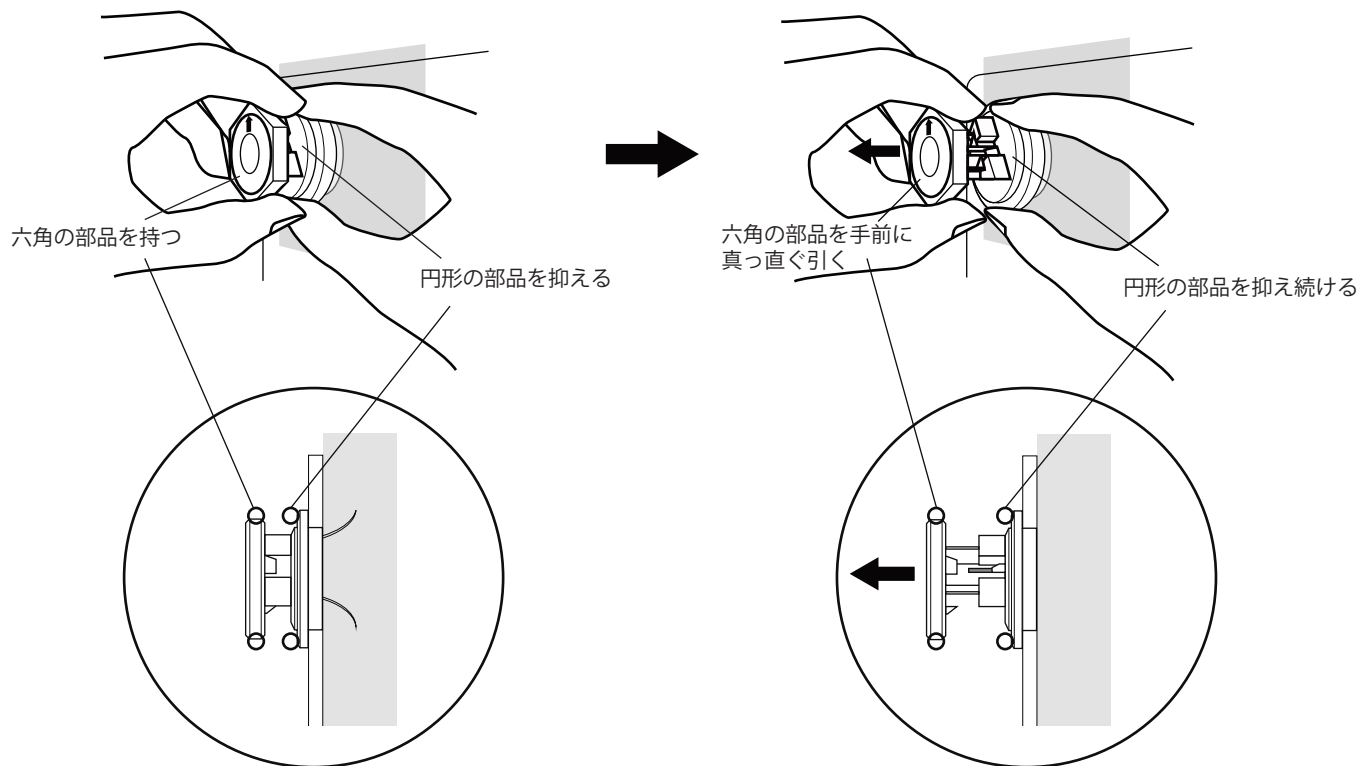


### 【プッシュピンを外す場合】

設置に失敗した場合や、移動させる場合は、下図を参考にプッシュピン (f) を取り外します。

1. まず、片方の手で円形の部品を抑えて、  
もう一方の手で六角の部品を持ちます。

2. 円形の部品を抑えながら、六角の部品を手前に  
真っ直ぐ引くと針が戻ります。完全に針が戻ったら外せます。



無理に引き抜いたり、引き抜く力の方向が正しくないと、  
壁の破損や怪我の原因になりますのでご注意ください。

## Step5. 壁側プレートにテレビ側ブラケットを引っ掛けて固定する



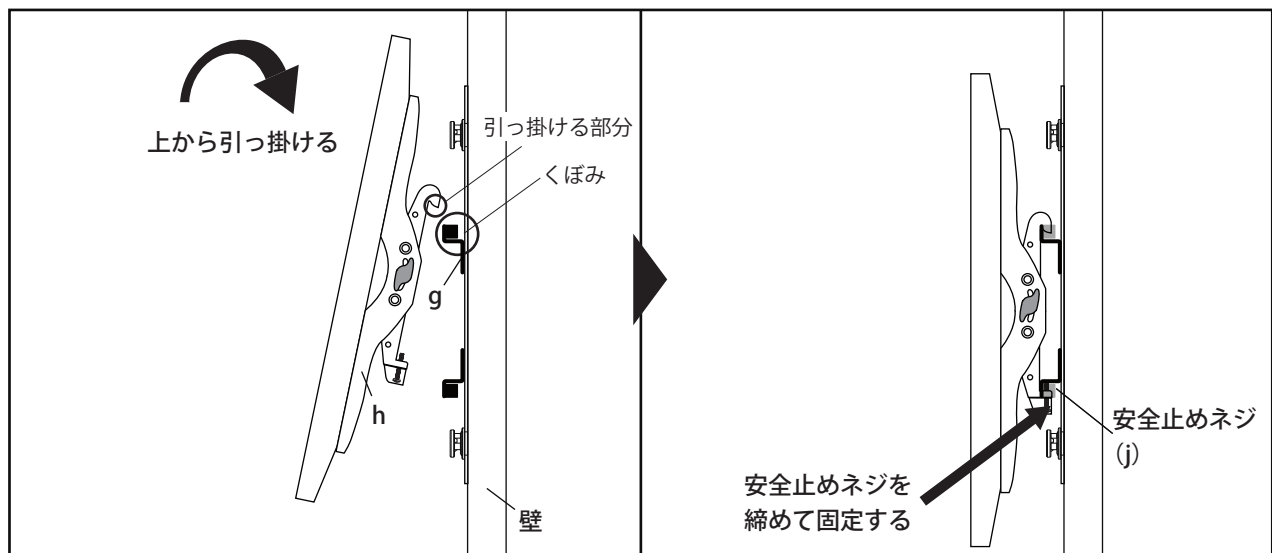
- ・この項目での作業は、テレビの大きさや重量によっては大変困難な作業となる場合がございますので、無理に1人で作業を行わずに2人以上での取り付け作業を行ってください。
- ・無理な作業による作業者の負傷や、テレビや金具などの破損・損傷などについては弊社では一切の責任を負えませんので、安全に作業を行うようにしてください。

### 【壁側プレートに引っ掛ける】

テレビの壁掛けが完了すると、テレビの背面と壁の隙間が約8cm程度になります。テレビ背面に電源コードなどを取り付けて使用する場合は、この作業を行う前にテレビに電源コード類を取り付けておいた方が最後にコード類を取り付けるよりも作業が楽になることがあります。

下の図を参考にして、テレビブラケット (h) の引っ掛ける部分を、壁側プレート (g) の上部のくぼみへ上から引っ掛けます。上部がしっかりと引っ掛かっているのを確認できたら、続いて安全止めネジを締めてテレビ側ブラケットが動かない様にしっかりと固定します。その際、安全止めネジが深く入っていると壁側プレートに当たってしまい、プレートの下に入りませんのでご注意ください。

下からネジを回す為、取付けの際は長めのプラスドライバーがあると作業しやすくなります。



### 【テレビの上下傾き角度を調節する】

金具がしっかりと固定され左右に動いたり外れたりしないことが確認できたら、テレビ側ブラケットの角度固定ノブ (i) で好みの角度に調節し、しっかりと固定します。

※安全止めネジの締めと角度固定ノブでの角度調整はどちらを先に行っても構いません。取付ける場所やテレビの構造を確認したうえで作業のしやすい方から行ってください。角度調節ノブで角度調整を先に行う場合は、テレビ側ブラケットが壁側プレートの引っ掛かりから落ちないように十分に気を付けて作業を行ってください。

## Step6. 最終確認

各取り付け部分およびボルトやプッシュピン、ネジ・ナットの緩み、ガタがないかを確認してください。緩みが確認できた際は増し締めをしっかりと行ってください。少しでもガタや、違和感があった際には取り付けを中止してください。この確認作業は定期的に (3ヶ月～半年に1回程度) 実施し、問題なく使用できていることを確認してください。経年使用による落下が無いように注意をして使用してください。

## **エモーションズ株式会社**

〒214-0032

神奈川県川崎市多摩区柵形 2-1-17 岩本ビル 4F

TEL : 044-455-4728

MAIL : [info@emotions.co.jp](mailto:info@emotions.co.jp)